

本のひろばの開設及び利用状況について

1 目 的

山形駅東西自由通路における「東京オリパラ・レガシー材を活用した壁面木質化」の完成に合わせ、同じくレガシー材活用の書棚などを設置する「本のひろば」を開設することで、高校生をはじめ若者層に本に親しむ機会を提供するとともに、駅利用者で普段は本や図書館になじみの薄い方にも図書館のPRを行う。

2 開 設 日 令和5年3月26日（日）

3 事業概要

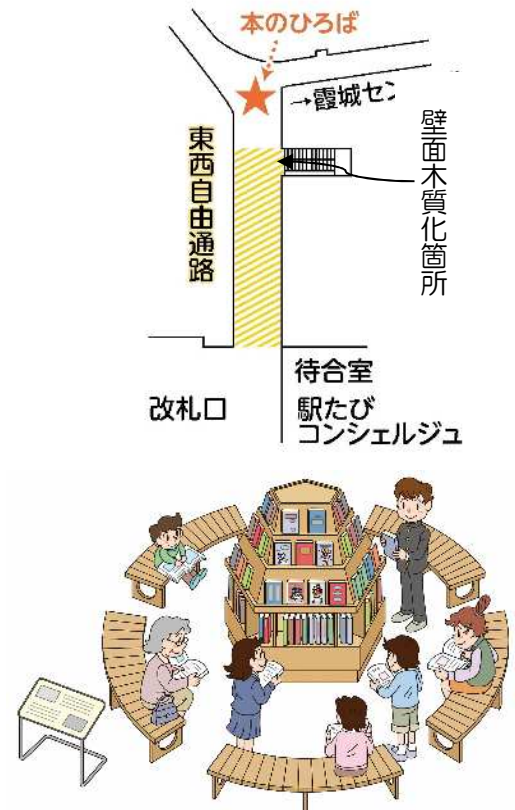
(1) シンボル書棚とイスの常設

- ・書棚は、待ち合わせ場所としても良いシンボルとなる造形
- ・書棚の周囲にイスを配置し、座ってゆっくり読むことができる空間
- ・蔵書は図書館で除籍された本を配置し、手続きなしで一人2冊まで2週間借りることが可能
- ・一般の方に加え、高校生が関心を持つような蔵書構成
- ・書棚の一面を展示コーナーとし、季節等に応じた展示を行う（展示本は貸出し不可）

○4月 山形北高校図書委員 「新しい季節にお薦めの本」

○5月 郷土絵本作家 深山さくらさん（山形県上山市生まれ。代表作「でんしゃとしょかん」）
「わたしのきっかけとなった6冊」

○6月 佐藤松兵衛氏（乃し梅本舗 佐藤屋）「市立図書館で読める、お気に入りの5冊」



(2) 貸出用ワゴンを活用した出前図書館の実施

- ・上山高等養護学校から製作いただいた貸出し用ブックワゴンを使用し、市有施設や市の観光イベントなどに出前図書館を実施
- ・出前図書館では、利用者と司書が本について気軽に対話できる雰囲気をつくり、本の紹介や本に関する相談などを行い、図書館をPRする。

○3月26日 やまがたエキナカマルシェ

- ・図書館蔵書の貸出し、図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ、人形劇、紙芝居を上演

○5月10日 ベにっこひろば

- ・図書館蔵書の貸出し、図書館職員によるわらべうた、手遊び、絵本の読み聞かせ

○6月17日 やまがたエキナカマルシェ

- ・図書館蔵書の貸出し、図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせ、紙芝居を上演



4 利用状況 (6月27日まで)

本のひろばで、多くの方にイスに座ってゆっくり本を読んでもらっています。また、自宅等でじっくり読みたい方には、下記のとおり貸出しを行い、本に親しんでもらっています。

◇貸出状況

日付	配本冊数 累計(A)	書棚残 冊数(B)	貸出冊数 (A-B)
3月26日	284	240	44
4月30日	630	188	442
5月28日	694	167	527
6月27日	786	182	604

※貸出冊数は推計の値(本のひろばでの閲覧数を除く)

※利用状況の確認は今後も継続して行っていく予定。



5 「本のひろば」利用者の声

- ・何日間・何冊まで借りて良いのか分かるようにしてほしい。(60代女性)【対応済】
- ・電車の待ち時間に来た。懐かしい児童書があり、思わず手に取った。(10代男子高校生)
- ・自炊をしているので、料理本があって嬉しいです(20代女性)
- ・写真集など短時間で読める本があるといいと思う(30代女性)【対応済】
- ・駅に用事があった。児童向け本を沢山置いてほしい。(60代女性)【対応済】

6 今後の予定

(1) 常設シンボル書棚の展示コーナー

- ・7月 山形市長
- ・8月以降 郷土作家、JR山形駅長、高校図書委員会、経済人などによる本の紹介を予定

(2) 貸出用ワゴンを活用した出前図書館

- ・7月5日(水) 山形市役所エントランス
- ・8月以降 やまがたクリエイティブシティセンターQ1やコパル、公民館等で実施予定